

## 平成17年度事業報告

特定非営利活動法人 菥子どもセンター

### 1. 17年度めざしたこと

わたしたちがすんでいる地域のすべての子どもたちを育む環境創りをめざす  
17年度のテーマ「サポートからアシストへ」

17年度は、もっと子どもが主体的に関われるよう、サポート＝支援から、アシスト＝子どもと同じフィールドにたつて、大人がきちんと子どもと向き合うことを目指して1年間すすめてきました。

#### (1) 菥市合併記念 菥子ども舞台芸術フェスティバルを成功させます

生の舞台でしか味わえない感動を地域事情や環境に関係なく、たくさん子ども達が体験できました。それが子ども達が通う園や学校で実施できたことはとてもよかったです。舞台に観入る姿がとても微笑ましく、子どもの笑顔の輝きの尊さを関わる大人の誰もが感じました。事前の読み聞かせや、当日のワークショップ（実際に人形を動かしてみる）、バックステージを見ることで、ただ舞台を観るだけでなく、舞台と観客が一体となって楽しむことができました。ワークショップでは、日頃目立たない子や、いわゆる問題児とされている子どもが偶然舞台に立って演じることができ、自己表現することで子ども達の自信につながりました。

地域住民や行政、学校、幼・保育園、民間団体が、意思の疎通や情報の共有化などの反省点もありましたが、一体となって連携を図り取り組むことで、この事業を成功することができました。また、教育現場で次々に起こる凶悪犯罪などの悲しい事件から、命を守るという安心・安全が最優先される中での、先生方の苦悩も相互理解できました。

文化が子どもの豊かな感性を育む上にとっても大切なことで、こういう機会がもっと必要であると感じました。

#### (2) さまざまな楽しい体験の場を発信し、子どもも大人も自ら積極的に関わっていきます

企画、運営した活動が参加者にも「よかった。」と喜ばれて、自分たちも充実感や達成感や意義を感じたとき、それは、私たちの次への活力につながります。今年度も、さまざまな活動を通して、楽しい思い出や体験を子どもも大人もつくることができました。しかし、比較的に大人のスタッフが揃っていた青い鳥プランやピヨピヨの会と、主に1人や2人しかいなかったストリートダンスを見たときにあらためてスタッフの体制が必要です。活動の中で起きる問題や何かいつもと違う、おかしいと感じた時に、どう子どもと関わり、対処していくかを考えることは一人ではどうにもなりません。今、大人の積極的な関わりが、会にとって大きな課題です。

#### (3) 人が集まる、人から頼りにされる「菥子どもセンター」になろう

「最近、引っ越してきたんですけど…。」「始めて参加するんですけど…。」、これは、ピヨピヨの会の問い合わせの内容です。頼って電話をかけてきてくれたことはすごく嬉しいことです。また、3月に入会された若いお母さんは、自分と年代の違うお母さんたちと話ができることがとても楽しいと喜んでいらっしゃいます。よかったことを共有し、ひとつずつ積み重ねて、広げていきたいと思えます。また、今年の初めに行った会員アンケートでも、会員でいることの意味を、人とのつながりとありました。しかし、子どもセンターの活動に意義を感じている反面、残念なことに会員数は減少し続けています。会員も増やしていきたいと思えます。

#### サポートからアシストへ…

的確にパスを出すアシストは、とても重要な役割だということを実感した1年でした。会員アンケートで「自分に何かできることがあったら」と思っている会員さんの声を知ることができました。もっと積極的にお互いが声をかけ合っていくことも、今まで弱かったところです。そのためにも、もっと交流を深めて、大人をつなぐを広げていきたいと思えます。

2. 事業の実施に係る事項

(1) 特定非営利活動にかかる事業

事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	受益対象者の範囲及び人数
舞台鑑賞事業	<p>舞台鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三びきのやぎのがらがらどん／ぼちぼちいこか 《人形劇団 プーク》</li> </ul> <p>みんな知ってる物語に子どもたちは目を輝かせていました。サークル団体3ヶ所、幼稚園、わくわく図書館を絵本、エプロンシアターなどで読み聞かせをしてまわりました。(三匹のやぎの表情と動きがとてもリアルですばらしかった。～参加者感想～) 担当：中央ブロック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェスティバル参加補助</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユネスコ創立60周年公演参加補助</li> </ul> <p>ユネスコ創立60周年を記念して、日本ユネスコ協会の支援をいただいて実現しました。こどもまつり～秋の巻～にあわせて開催しました。高校2年生のタロー君のハーモニカの演奏とお父さんのギターと歌で、ブルースを堪能、会場がノリノリの熱気に包まれました。</p>	<p>5月8日 14:00～</p> <p>6月13日 19:00～</p> <p>10月30日</p>	<p>サンライフ萩</p> <p>萩総合福祉センター 集会室</p> <p>JOY201</p>	<p>177人</p> <p>115人</p>
	<p>子ども舞台芸術小公演(フェスティバル)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松元ヒロソロライブ 《松元ヒロ》</li> </ul> <p>萩でおなじみの松元ヒロさんの公演は、リピートさんが多いのが特徴です。汗びっしょりかいての熱演に、とにかく笑って、笑って、楽しみました。担当した高学年の実行委員は、準備から当日の運営を担当、手作りのお弁当の小夜食(劇団の方の公演前の食事)に、松元ヒロさんもとても感激されてました。 担当：高学年実行委員会・椿東ブロック</p>	<p>6月13日 19:00～</p>	<p>萩総合福祉センター 集会室</p>	<p>110人</p>
	<p>萩子ども舞台芸術フェスティバル</p> <p>萩市合併記念として、幼稚園、保育園、小学校すべての子どもたちに生の舞台を提供しました。</p> <p>人形劇団プーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「おれはママじゃない/人形おもちゃ箱」</li> </ul> <p>心がふわっとあたたかくなる、ひよことワニのお話と、もうひとつは、毛虫の親子の人形、狸の人形など、次から次に人形たちがとびだしてくる楽しい人形ボードヴィルショーでした。</p>	<p>10月11日 ～20日 11ステージ</p>		

	<p>・ブラインド・レモン・ブラザーズ 「ブルースライブ」 ハーモニカ少年のタロー君とお父さんのブルースライブ。タロー君の目を見張る腕前と2人のセッションから生まれるブルースに、言葉はわからなくても体で感じることができました。</p> <p>・人形劇団クラルテ 「ゆらゆらばしのうえで /どうしてぞうさんのおはなはながいの」 1本の丸太の上で身動きがとれなくなったうさぎときつね、みんなに読まれている絵本の人形劇と、登場する動物の人形からセットの全てが紙でできている人形劇。楽しいワークショップやバックステージツアーもあって、楽しさ2倍でした。</p>	<p>10月27日 ～11月1日 5ステージ</p> <p>11月7日 ～18日 16ステージ</p>	<p>萩市内の 幼・保・小 の体育館や 公共施設な ど</p>	<p>延べ観客数 4,688人</p> <p>スタッフ数 延べ105人</p>
<p>子どもの諸活動 支援事業</p>	<p><b>高学年活動</b> 高校生5人の実行委員会で企画から運営をし、交流会やサマーキャンプをしました。キャンプでは、夜に保護者の方が様子を見にこられて、楽しい談義に花がさきました。異年齢の子ども達が触れ合い、高校生がリーダーとして頼もしく成長しています。お誘いの工夫をして行きたいと思います。</p> <p>6月 全体会&amp;交流会 8月 サマーキャンプ</p> <p>10月 たこやきパーティー こどもまつり 下手人を探せ担当 3月 お別れ会クレープパーティー</p>	<p>6月5日 8月23日 ～24日</p> <p>10月22日 10月30日 3月27日</p>	<p>事務所 奈古遠岳キ ャンプ場 事務所 田町 事務所</p>	<p>22人 21人 19人 不特定多数 17人</p>
	<p>ストリートダンス 子どもの創作表現活動「Le Ciel」(風) (地域子ども教室推進事業) 地域子ども教室として子どものダンスに取り組み、吉見一貫正頼さんにダンス指導をしていただきました。また、幅広い広報活動で小学生の参加がありました。また、恒例の夏まつりのストリートダンスをはじめ、地域のいろんなイベントに参加することができました。ダンスを通して、異年齢の交流が自然にできています。 ダンス指導：吉見一貫正頼さん ①6月25日(土)②7月22(金)23(土)③10月5日(水) 参加した地域のイベント 7月16日(土) 田町土曜夜市 8月3日(水) 夏まつり 8月9日(火) 七夕のつどい 11月12日(土) ふるさとまつり 11月18日(日) オレンジアーティストフェスティバル</p>	<p>月、水、土 計85回</p>	<p>事務所 ほか</p>	<p>延べ参加人数 943人</p>

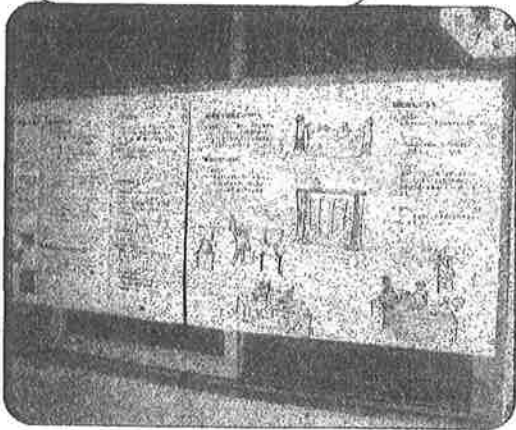
	<p>子どもの居場所作り計画[青い鳥プラン] ワークショップを通してコミュニケーション能力を高め、人との関わり方や自分を表現する力を見につけることを目的に年間を通して取り組みました。1年間を通して子どもの成長を見守ることができた、今までにない活動でした。実行委員は、専門の講師や外部のスタッフ体制で、充実した内容にも成功の要因がありました。</p> <p>第1ステージ はじめまして、こんにちは 第2ステージ 体で感じよう、夏の思い出（海交流） 第3ステージ あそぼう、あそぼう 第4ステージ ステキなあなたを見つけよう 第5ステージ ベーこま王座定戦（伝承遊び） 第6ステージ 春を見つけよう</p>	<p>6月26日 7月18日 10月16日 12月11日 1月29日 3月26日</p>	<p>萩青年の家 阿武町 土原体育館 萩青年の家 萩青年の家 須佐、福栄</p>	<p>延べ参加人数 161人</p>
	<p><b>県中高生交流会</b> 子ども劇場山口県センターの企画実施による県内の中高生の交流会に12人が参加しました。また、高学年の実行委員の5人は実行委員として、伊藤麻美さんは委員長として大役を果たしました。会場が萩青年の家と地元だったので、萩の良さを知ってもらおうウォークラリーをするなどみんな頑張っていました。</p>	<p>3月28日 ～29日</p>	<p>萩青年の家</p>	<p>12人 サポート1人</p>
	<p><b>こどもまつり</b> ・春の巻は、田町らくがき町に協力して、ヨーヨーつりやスタッフとして参加しました。 ・秋の巻は、田町まるごとYOU・友・遊の2回目の開催でした。明倫小学校の3年生、他団体などが参加して、楽しい1日を過ごすことができました。まつりを通して、子どもの安心して暮らせるよう、人と人がつながり合うことができたと思います。</p>	<p>5月5日 10月30日</p>	<p>ジョイフル 田町</p>	<p>不特定多数 不特定多数</p>
	<p><b>遊びの広場（萩夏まつり）</b> 今年は、遊びのコーナーはやめてストリートダンスのみで参加しました。夏まつりを目指して頑張っている子どもたちには、この日は生き生きと輝く日、エネルギーに溢れるストリートダンスは今年もたくさんの人垣ができました。</p>	<p>8月3日</p>	<p>吉田町</p>	<p>不特定多数</p>
子育て支援事業	<p><b>ピヨピヨの会</b> 月2回、未就園児の遊び場、お母さんの居場所作りとして実施してきました。今年度も、お母さんだけでなく、おばあちゃんの参加も数多くあり、子育て支援として広く認知されたように思われます。また、スタッフも会員だけでなく、会員外の人も加わってくれて、親として、大人として、広く子どもを見る目を養う場にもなってきたように思います。</p>	<p>毎月 第1.3 ・木曜日 10:00 ～11:30 年20回</p>	<p>萩市総合福祉センター ほか</p>	<p>延べ参加世帯 310世帯</p>

	<p><b>子育てミニミニ講座</b>          父親の育児参加を目的に、身近な講師を招いて、親子で休日を楽しく過ごせる楽しい企画を実施しました。託児には高校生を募集しました。参加は決して多くないのですが、毎回雰囲気はほのぼのとして家族のよさを再確認できました。</p> <p><b>親子でグッドサンデー パートⅠ</b>          「パパとクッキング、ママはリラックス          ～お花の中でランチをいただきましょう～          講師：清水和子さん（栄養士）          清須紀江さん（フラワーアレンジメント）          パパと子どもはクッキング、ママはフラワーアレンジメント、家族で楽しい一日を過ごしました。</p> <p><b>親子でグッドサンデー パート2</b>          ～手作り楽器で演奏会          我が家のカレーコンテスト～          講師：有田真美子さん(有田音楽教室)          身近な材料を使って家族で楽器作りに挑戦しました。また、パパと子どもは我が家のカレーづくり。それぞれに隠し味があって、それぞれの我が家の味をみんなでいただきました。</p>	<p>5月29日 9:30 ～13:00</p> <p>2月12日 9:30 ～13:30</p>	<p>萩市中央 公民館</p> <p>萩市中央 公民館</p>	<p>9組35人 スタッフ7人</p> <p>6組24人 スタッフ5人</p>
<p>子どもと文化に関する活動支援事業</p>	<p><b>ぺっぴんしゃん(影絵の会)</b>          学校ほかが施設の訪問公演をしました。おやこ劇場の頃に有志のお母さんから始まった活動は、数年前から図書館が窓口のジョイネット草の芽に登録して活動して、公演の依頼も範囲も広がりました。来年からは、子どもセンターの活動から独立してさらに活躍していきます。          1997年～スタート</p>	<p>年28回</p>	<p>学校ほか</p>	<p>1,925人</p>
	<p><b>おはなしやまんば(お話の会)</b>          月1回、勉強会をしています。今年は、10月のこどもまつりにストーリーテリングをしました。</p>	<p>毎月 第3月曜日 9:30 ～12:00</p>	<p>萩市中央 公民館</p>	<p>4人</p>
	<p><b>会員交流</b>          全体会の終了後に、高学年の子どもたちも参加して交流会をしました。昼のブロック会の参加が難しいので、夜の食事を月に1回開催しました。秋以降は、萩舞台芸術フェスティバル公演が始まって、そのままになってしまいました。初めて会う人、会員になって間もない人、小人数でしたが楽しい交流になりました。</p> <p><b>ブロック活動</b>          各ブロックが舞台鑑賞会を担当しました。中央ブロックの活動として続いているハンドベル隊「魅惑のシスターズ」は、メンバーが椿東ブロックにも広がりコープの被爆終戦60年企画「平和のつどい」で、オープニングの演奏をしました。みんなで心地よい充実感を体験できました。</p>	<p>年4回</p> <p>11月6日</p>	<p>事務所ほか</p> <p>防府JAとくじ会館</p>	<p>7人</p>

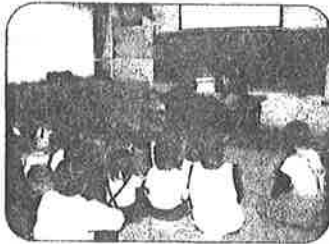
	<p><b>おもちゃ絵本展</b></p> <p>子どもの発達を考えたおもちゃや絵本の展示を、来場者増を見込んで田町商店街の土曜夜市にあわせて7月に変更し開催しました。それを目的に来るといよりも、まつりに来て立ち寄る人の方が多かったです。また、今年はしないのと聞かれることもあって、開催時期、場所を変更した周知が不十分さを残しました。来年の開催は見合わせてたいと思います。</p>	7月2日 13:00 ~20:00	JOY201	不特定多数
子どもと文化に関する活動広報事業	<p>子どもと文化に関する活動の紹介、広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機関紙「Friends」を発行しました。</li> <li>・国民文化祭のおひろめ隊士、命のリレー講演などで子どもセンターの紹介をしました。</li> </ul>			機関紙1回
子どもの権利条約推進事業	親子ニュースなどで広報、啓発をしました。	おやこニュース発行		計8回
その他 地域との協働	<p>田町らくがき町 土曜夜市 七夕のつどい実行委員 田町萩焼まつり 8020歯科大会 クリスマスイベント</p> <p>子育てにやさしい商店街づくり実行委員 あそぼ情報誌委員、編集スタッフ 国民文化祭実行委員 国民文化祭きらめき事業実行委員</p>	5月5日 7月 8月9日 10月9日 11月6日 12月23 ~24日		

# 萩子ども舞台芸術フェスティバル 2005.10~11

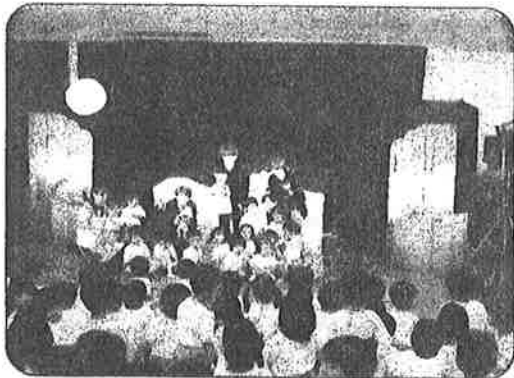
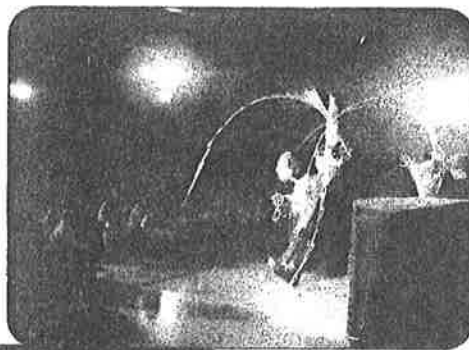
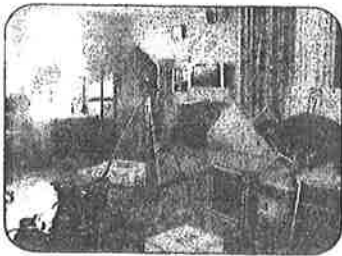
「人形劇ができるまで」  
パネル展示



事前活動「読み聞かせ」



「おれはママじゃない／にんぎょうおもちゃ箱」  
人形劇団ブーク 2005. 10. 11~20 11ステージ



「ブルース・ライブ」

ブラインド・レモン・ブラザーズ 2005.10.27~12.1 5ステージ





「おひさま劇場」

人形劇団クラルテ

2005. 11. 7～18 16ステージ

